

総合計画審議会 会議経過要旨

| | | | |
|--------|---|--|-------------------|
| 会 議 名 | 第4回木津川市総合計画審議会 | | |
| 日 時 | 平成25年10月10日 午後5時～午後7時 | 場 所 | 木津川市役所 第2北別館2階会議室 |
| 出 席 者 | 委 員 | ■真山 達志（会長） ■土山 希美枝（副会長） ■高味 孝之 ■坂本 利紀 ■福本 桂子 ■水野 勝夫 ■稲田 進 □金川 光子 □久保 恭子 ■高岡 善夫 ■中津川 敬朗 ■西澤 浩美 ■平田 克子 ■湯瀬 敏之 | |
| | その他出席者 | 株式会社地域未来研究所：義浦氏、倉嶋氏 | |
| | 庶 務 | 事務局 学研企画課：尾崎公室長，尾崎課長，奥田課長補佐，楠見主任 杉田主事 | |
| 議 題 | 1. 開会 2. 議事 (1) 協議事項 ①木津川市総合計画後期基本計画中間案について (2) その他 3. 閉会 | | |
| 会議結果要旨 | 1. 開会 事務局より開会を宣言した。 2. 議事 (1) 協議事項 ①木津川市総合計画後期基本計画中間案について 「説明資料 後期基本計画（案）の考え方」、「資料1 IVまちづくり 施策の方針と主な事業」、「資料2 成果指標と目標数値の現状」、「資 料3 後期基本計画における新規事業一覧」、「資料4 後期基本計画に おける完了及び施策転換事業一覧」を用いて、後期基本計画の中間案につ いて協議した。 (2) その他 次回審議会を、11月18日（月）17時から開催することを通知した。 3. 閉会 | | |

| | |
|---------------|--|
| <p>会議経過要旨</p> | <p>1. 開会 運営内規に基づき、会議録の署名委員として水野委員を指名した。</p> <p>2. 議事 主な意見・質疑等は次のとおり (○…質疑・意見、→…質疑に対する返答)</p> <p>(1) ①木津川市総合計画後期基本計画中間案について 後期基本計画の策定については、3年後から交付税の段階的な減額が始まることから、基本構想部分に変更せず、前期基本計画の確認を行ったうえで策定するといった方針で進めている。 委員の皆様へ資料を送付した後、庁内におけるワーキングチーム及び事務局にて協議を行い、施策の基本方針の言い回しや主な事業の説明文、基本構想など前期基本計画を踏襲するとしていた部分について、表現がわかりにくいのではないかとの意見があった。 これを受け、施策の基本方針については基本的に表現を変更せず、主な事業についてもわかりやすいように、完了した事業や施策変更があった事業については削除させていただいている。 このことから、配布資料は、施策の基本方針の表現をこれまでどおりとし、主な事業については完了等したものを削除し、現在進められているもの・今後進められるものについて掲載したものとさせていただいている。</p> <p>○「資料1 IVまちづくり施策の方針と主な事業」の17Pに、木造住宅耐震診断件数が60件とある。 耐震の見直しというのは昭和56年と平成12年に行われている。木津川市内に木造住宅は23,000戸あり、アンケート結果から逆算すると、耐震に不満を持っている17,000戸が存在すると考えられる。 これらを考慮して、成果指標を60件ではなく17,000件とできないか。多額の予算を一気に投入せずとも、やり方がある。 広報誌の中に、個人でもチェック可能な項目を記載したはがきを付け、必要事項記入し送付してもらい、アドバイスを返すという形式もいいのではないか。60件では不安に思う。 また、建築家の中、地震被災建築物応急危険度判定士の資格をもった方もいるので、活用は考えられないか。 さらに、「耐震診断件数」は「耐震補強件数」ではないか。 総務課では耐震補強という言葉でPRされている。 ○耐震診断を個人的に受けておられる方もおられるだろうが、それらについては市役所では把握できない。ということから考えると、この数値は何</p> |
|---------------|--|

を意味しているのか。

→木造住宅耐震診断件数の考え方としては、京都府を中心として、木造住宅に居住されている方が耐震改修等を検討される場合、一部市から補助金が出るので、まず診断を受けてくださいというものである。

指定する診断士の方に診断をいただいて、診断の結果、危険性が高いと判定された方に改修等の一部補助を考えていくというものである。

なお、この改修に向けた取り掛りとなる耐震診断であるが、受けられる方が非常に少ないという現状である。

○施策の上で耐震診断を受けた数が47件ということであるが、実際の木造家屋の戸数からするとあまりにも少ない。

この数値がミスリーディングを起こす可能性があるが、対策は考えているのか。

→原課に再度確認するが、施策開始後に広報等で周知を進めてきたが、当初の1、2年はほぼ0件であり、最近やっと増加してきた状況だと聞いている。これらの状況を考慮しながら、平成30年の目標数値を再度検討させていただく。

○指標が、あたかも街中の耐震診断を受けた件数である、と思ってしまうところに誤解の元がある。

耐震改修の補助を受ける前段階としての診断なので、先ほどあった様なセルフチェックなどの手法が考えられるが、その辺りが伝わっていないので、どのような数値なのか明確にすべきである。

また、取組みと成果指標との関係で言えば、街の中の20,000件の耐震診断を推進していくという目標を掲げるのであれば、成果指標としては満足な数値として示せない。

取組みの実情や戸数の話など、補足的な情報を足してはどうか。

さらに、原課に問い合わせる際に、その他の耐震診断等の取組みが行われていたりしないのか、これで十分だと考えているのか等を聞いていただきたい。

○前期基本計画にも指標として示されているので、その整合性もあるだろうが、仮にこの指標を継続して用いるのであれば、「～補助事業の利用件数」などと補足を付加して、「全市をあげて60件しか実施していないのか」という誤解を防ぐことが必要である。

今後の取組みの中では、市民が気軽に実施可能なもので件数を増やしていくことが必要である。

○18Pの地域防災対策の充実の中に、避難所の整備という項目があるが、災害の発生に備えた避難所の整備が含まれていない。

阪神淡路大震災においてもトイレの確保が一番の問題であったという話を聞いており、長岡京市では、避難所にはマンホールトイレなどの設置が進んでいる。

木津川市はどのように考えているのか、危機管理としての整備の視点も入れていただきたい。

→災害発生時には、命を守るということが最重要であるが、危機管理の視点では行政がどこまでサービスとして確保できるかということは非常に重要な点である。

そういう意味で、何か物を備蓄すれば良いということではなく、さらに踏み込んだ対策を考えていき、それが計画から読み取れるようになれば良いと考える。

○総合計画には、人口や就業者数、工業出荷額などの町の力を判定する基礎的な指標が示されるべきだと思うが、これらはどうなっているのか。

また、満足度のパーセンテージで施策を評価することが本当に適当なのかは疑問に思う。

絶対的な数値として、例えば雇用が何人発生しているか、等の方がわかりやすいのではないか。

→基礎的な指標に関しては、後期基本計画の構成の中に、序論部分として記載をしていく。

指標については、この5年間の実績に基づき設定しているが5%という数値は悩んだところでもある。

既存計画に数値として上がっているものに関してはそれを活用している。

一律5%では少ないと考え、さらなる上昇のために取組んでいきたいと考えているが、この数値をもって満足していただけるのか、また、5年後にアンケート調査を実施するまで判断できないというという懸念もあるが、5年間で推進した結果として、次回の第二次総合計画策定時の資料として活用できるのではないかと考えている。

○総合計画という市の上位計画の中で、そこまで詳細な数値を示すことができるのかは疑問に思う。

総合計画では、どのように事業を進めていくのかという最大の目標値を定めておき、防災計画や都市計画マスタープランなどの、上位計画に基づいた個々の計画できっちりと数値を示していくようなかたちで構わないのではないか。

○後期基本計画のイメージについて、基礎自治体をめぐる環境など全国標準の議論から導入していくのではなく、木津川市の状況を中心に示せばよいのではないかと。

例えば急速な少子高齢化とあるが、木津川市は14歳未満の人口は増えており、全国標準と一致するわけではない。

先ほども指摘があったが、本来は動態や実情等の数値を根拠として施策が構想・展開されるものであり、これらが無いと議論ができないはずである。前期計画の成果も踏まえた、木津川市の姿を記載していただきたい。

関連して、総計の下位計画にあたるものが記載されているのは良かったと思う。

ただ、環境計画や防災計画に関する記載が無いので、下部計画としてあるものは施策の下位計画として全て書いていただいた方がよい。

参考指標として、下位計画に記載されている指標数値を記載すれば、体系的に見えてよいと思う。

また、施策の基本方針等の箇所に、環境基本計画・地域防災計画・避難計画・介護など、関係する重要な計画を記載しておけば具体化されるのではないかと。

満足度については、100%を目指さずともよいのではないかと。60%あるのであれば、不足しているところに資源を振り分ける方が効果的である。

総合的な指標というものはなかなか難しいと思うので、満足度に頼らざるをえない部分はあるだろうが、個別の事業計画等から参考指標を拾い上げ、抽象的になりがちな総合計画を深めていただければよいと思う。

○前期基本計画で完了となっている分について、木津駅前の土地区画整理事業の早期完成が完了となっている。木津駅前の東西口だが、全く機能していない状態となっているが、この状態で完了なのか。

住民としては全く不本意で、評判が悪い。

これらについて、後期基本計画のどこかに記載があってもよいのではないかと。残念な駅前開発と言わざるを得ない。

→駅前の土地区画整理事業としては、換地処分が終えられ完了している。今後は、国道24号の整備や市道335号木津山田川線の道路改良事業が行われていく予定である。

また、周辺の木津川市が所有する土地等も、新たな事業に向けて進めていくということも、取組みの内容には含まれている。

○ハードとしての事業は完了しているが、ソフトとして・まちの機能として、市民の期待しているものになっていないのではないかとというご指摘だと思う。

後期基本計画に盛り込むとすれば、52Pの施策28：都市拠点の整備、の箇所ではないか。

市民が求める都市の機能や利便性などが読み取ればよい。

今のままでは何をどうするかがほとんど見えず、何となく「やります」、としか読めない状態である。

土地区画整理事業は農地整備の手法なので、駅前整備に使う手法としては不十分である。

本気で取組むならば都市再開発事業でなければならないが、そうなるとなかなか進捗しないということにもなる。

区画整理で綺麗な区画を作り、どのように活用していくかという議論になった時に、区画整理事業では市が介入する余地が少ない。

地権者の意向で自由に使って良いというものが大半になるので、この手法的の限界というものが、まさに木津駅周辺で現実のものとなってしまっている。

例えこのような状況だとしても、いかに木津川市が都市をより良く作っていくかをどこかで謳っておくと、市民も安心できるのではないか。

あるいはまちづくりに積極的に関わられるのではないかと思う。

○今回は中間見直しなので、目標値を一律5%も上げる必要はあるのか。

見直しという意味では、達成できていないところに注力することが重要ではないか。

最終目標をどこに置くのかが問題で、6割程度の満足度があれば満足度の高いまちであると考えるのであれば、最終目標は6割、と明記すればよい。

一律5%と明記するのではなく、達成できているところとできていないところ、というものを総合計画で整理し、できていないところについてはしっかりやりましょう、できているところについては引き続き努力します、という考え方ではいけないか。永遠に5%上げ続けるのか。

○なぜ一律であり5%であるのかという点については、合理的な説明はできないだろう。

こういった取組みをすれば満足度が何パーセント上昇するのかという因果関係も把握できず、満足度の上昇数値としての根拠が示せない。

この数値にこだわって、どれだけの意味があるのかと考えた場合、「現状よりさらに上げます」という方向性のみでも良いのではないか。

あまり数値にこだわっても仕方ないように感じる。

具体的な指標が出るものについては、目標値として、達成のために何をどうすればよいかを考えることができるので良い。

○行政施策なので、数値が示されて正解ではなく、継続的に上げなければならないという意味では、5年後の調査結果のみを目標としてはいけないと思う。

また、数値にこだわっても数値だけが意識に残って施策自体が動かないことにも成り得るので、「↑（上方修正）」という表記で良いのではないか。

○満足度は難しいが、目標値だけは設定しなくてはならない。

職員も目標値があるから動くことが出来るし、議会にとっても、目標値があるから追及ができることから、ある程度の数値目標は必要である。

しかし、満足度のみでは、市民の満足度が上がりさえすれば行政は満足してしまうかもしれない。目標数値だけは入れていただきたい。

さらに、我々が市長から諮問を受け答申をする中で、市長がいつも言っておられる「子育て支援ナンバーワン」についての部分にボリュームが少ないと思うが、市長はどう思われているのか。

加えて、事業仕分けが行われる中で、「子育て支援ナンバーワン」を謳いながら、小中学校の修学旅行補助金が来年度からカットされる。

仕分けを受け、総合計画の良い部分をカットする時には、どのように事業計画と計画との整合性を持たせていくのか。

→指標の目標値について、適切な目標値の設定については事務局でも悩んだところである。

個別計画の中で謳われているものを用いて目標値としていくことは理解できる。

今後内部で相談させていただき、報告する。

子育て支援のボリューム不足については、資料3で示しているように、新規事業の中で多く入ってきている。

あくまでも、基本構想・前期基本計画を踏襲するという考えに基づいており、ボリュームの多少については、個人の感覚に左右されることが大きいのではないか。

また、市長は審議会に諮問している立場であるため、事務局で整理を行なったうえでの内容報告は行っているが、意見は特にいただいている。

仕分けとの関係については、70Pの取組3：行財政改革の推進の箇所に示している。

PDCA サイクルで必要に応じて今後も見直しを続けていきたい。

○総合計画というのは、市長のマニフェスト・思いが強く反映されてこそその総合計画である。

市長の「子育て支援ナンバーワン」の思いをどのように反映したかにつ

いては、事務局としてはこのままでよいという認識か。

○子育て関係については、審議会にて出た意見を市長に伝えていただきたい。

市長が不十分と判断されれば追加されるであろうし、十分反映されていると判断すれば現状のままとなる。

○水・緑・歴史という市の将来像が示されているが、例えば1Pにある、「歴史文化の保全と活用」に関しては、事業の進捗や将来の方向性等の具体的な記述があって良いと思うが、例えば3Pの「地域文化創造活動の育成・促進」など、抽象的にしか書けないような事業について、「支援します・検討します」が非常に多くなっている。

可能な限り具体論を出していただくとありがたい。

5Pの「旧奈良街道の保全と環境整備」については、観光商工課が所管なので道路を整備するという意味ではないので、どのように施策のキャッチフレーズ（水・緑・歴史の3点）を生かしていくのか、具体的な事業の目標など上げる必要がある。

「木津川流域ネットワークの形成」についても、これは非常に壮大な問題なので、どうしていけばよいか、今後5年で結論を得ることは難しいかもしれないが、検討をお願いしたい。

○担当課の意識や扱う分野によって異なると思うが、最初の方は抽象的に感じられる。

主な事業の例を見てもまだわからない部分があるのは確かである。

各担当課に、抽象的だと指摘があった旨の意見は伝えていただき、きちんとメッセージが伝わるような書き方を検討いただきたい。

○圃場整備事業が完了となっているが、後期基本計画の新規事業に含まれている土地改良事業には圃場整備も含まれている。

これは、5年前に計画された事業についてのみが完了という解釈でよいか。

→ご指摘のとおりである。

圃場整備については、北綺田圃場整備が完了したということで削除しており、今後の方向性が未定の部分もあるが、事業としては載せさせていただき予定である。

○本市の土地改良事業の進捗は全国でも最低レベルなので何とかしていただきたい。

○成果指標については、再考・再整理いただきたい。満足度というのは結

| | |
|--------------------------|--|
| | <p>果でしかない。</p> <p>満足度を上げるために実施していること（事業）が背景にあるはずである。</p> <p>後期基本計画で新規に追加されたものについては、特に成果指標が設定されていないものが多い。</p> <p>成果指標が無いということは、実行されなくてもエラーとして引っかからないということになってしまう。</p> <p>「環の拠点」や「温室効果ガスの排出削減」など、成果指標として全く入っていないので、具体指標が出せるものは整理して、個別計画との関係性等もわかるようにしてほしい。</p> <p>そうでなければ施策の全体像が見えてこない。</p> <p>施策の成果を証明するものや、施策が構成されているものの成果指標が上手に出てこない、なかなか成果が見えてこない。</p> <p>どうしてこの指標で達成したと判断できるのか、となってしまうこともあるだろう。</p> <p>これらを踏まえ、成果指標が達成されたら満足度がこれだけ上がるだろう、というものが、適切な設定ラインであろう。</p> <p>○成果指標自体の数や内容は増減があるのか。</p> <p>→前期基本計画での成果指標項目は踏襲し、加えて、いくつか新規で追加している。</p> <p>○新規事業のものに関して、成果指標が特に不十分かもしれない。</p> <p>前期基本計画との整合性の問題があるので、指標の入替えや削除は難しいと思うが、数値の修正や項目の追加といった対応で調整していただきたい。</p> <p>○審議会でご意見やアイデアについて、これを踏まえ各課との折衝を通じ、変更可能な部分については変更いただきたい。</p> <p>→いただいた意見については内部で調整を行う。</p> <p>(2) その他</p> <p>次回の審議会は、11月18日（月）17時から開催することを通知した。</p> |
| <p>そ の 他 特 記 事 項</p> | |